



のびのびひろば

開催日 毎週 火・水・金曜日
時間 9:30~14:30
場所 みなみ保育園

保育園の子育て支援室を開放しています。子育て仲間を誘ってゆったり過ごしてくださいね。室内のおもちゃは自由に使えます。

乳幼児に多い感染症

伝染性膿痂疹（とびひ）

●症状
虫刺されやあせもなどをかいて、そこから黄色ブドウ球菌などが入り、水泡ができます。それを、かきこわすと浸出液が出て、他の皮膚に広がります。

●注意すること
かきこわさないために、つめは短く切っておきます。ジュクジュクしている患部は、ガーゼなどで、きちんと覆うことができれば登園することが可能です。

季節の草花

ヤブカラシ

藪をも枯らすほどの勢いで成長するヤブカラシ。低木の植え込みの上を覆いつくすように成長した姿をよく見ます。花一つ一つはとても小さいですが、ピンクやオレンジ色の花の点が、ぽつぽつと光っているように咲くので美しいです。



汗を分泌する汗腺の数は、大人も子どもも同じですが、子どもは汗腺の密度が高く、汗をかきやすいです。汗は体温を下げる一方、あせもなどの皮膚トラブルのもとになります。暑さと汗、両方の対策が大切です。

暑い夏を元気に乗り切りましょう

子どもは、大人よりも体温が上がりやすく、汗をたくさんかきます。毎日着る服をちょっと工夫して、夏を快適に過ごせるようにしてあげましょう。

シャツ

えりぐりやそで口がゆったりしていると風通しがよく、涼しく感じられます。あせをよく吸う綿や、速乾性のある素材のものがおすすめです。暑くて肌着をいやがるときは、やわらかいシャツを着せてあげましょう。

帽子

頭部に直射日光が当たると、めまいや吐き気が起こります。外出するときは、帽子をかぶらせましょう。うなじまでカバーできるのが理想的です。



ズボン

普段は涼しい半ズボンで、レジャーなどで虫刺されを防ぐためには長ズボン、といった具合に、場面に合わせて選んであげましょう。

靴

大人はサンダルのほうが涼しくてよいと考えがちですが、子どもの足は未熟で骨もやわらかい状態。思い切り遊ぶためには、足に合った運動靴をはくことが大切です。

車の中の暑さにも気をつけて

①日差しを防ぐ工夫を

エアコンをかけていても、直射日光が当たると暑いもの。子どもがすわるチャイルドシートのそばに日よけを設置するなど、日差し対策をしておくとう安心です。



②決して子どもだけ車中に残さない

炎天下の車内は、あっという間に室温が上がります。エアコンをつけていても、エンジンがオーバーヒートして停止したり、子どもがスイッチをいたずらしたりする危険があります。短時間でも、絶対に子どもだけを車内に残してはいけません。

おすすめの絵本

カブトくん

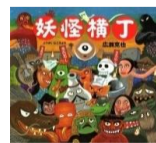
作・絵: タダ サトシ
出版社: こぐま社



こんちゃんは虫が大好き。なかでも一番好きなのはカブトムシ！ そんなカブトムシと、もし一緒に遊べることができたら...？ 冬のある日、こんちゃんは森で出会うのです。大きな大きな幼虫に。家に持ってかえって大事に育てると、夏も真っ盛りになった頃、地面の上に出てきたのは、自分とほぼ同じ大きさになったカブトムシ。こんちゃんは「カブトくん」と名付けます。

妖怪横丁

作: 広瀬 克也
出版社: 絵本館



さあさ、妖怪好きな子ども達はいらっしやーい。ろくろくびからこなきじじ、いったんもめんやくちさけおんな。あの有名な妖怪達が総登場！ あれ、でも何か雰囲気楽しそうですよ。「ロックロックピ楽器店」「ひとつ目メガネ時計店」「ざしきわらし不動産」。そう、ここは妖怪横丁。妖怪たちが思いっきり生活を営んでいるのです。まだまだありますよ、「やまんば産婦人科」「クラブゆきおんな」...なかなか勇気の必要な店構えも。さて、そんなところに迷い込んだのは人間の子。無事に戻ってこれるのかな？

夏真っ盛りの8月。暑い日が続きますが、外での遊びは熱中症に気を付けながら、涼しい時間帯を選んだり、こまめな水分補給を心掛けましょう。室内でも水遊びや氷を使った感触遊びなど、暑さを和らげる工夫を取り入れると楽しく過ごせますね。また、この時期は生活リズムが乱れがちになることもあります。規則正しい生活を意識し、しっかりと食事や睡眠をとることで暑さに負けない体をつくっていきましょう。